

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様におかれましてはますますご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

平素のご厚情を深謝し、本年も読者の皆様一人一人にご満足いただける冊子作りに努力してまいりたいと存じます。

弊社は、昨年7月に本社、東京事業所、王子事業所の一部を移転統合し、新本社として業務を開始しました。さらに粉末培地の品質向上および生産効率、生産能力の増強を図るため、本年7月操業開始に向けて野木事業所内に「新粉末培地工場」を着工いたしました。研究開発としましては、遺伝子増幅法（LAMP法）を用いた高病原性鳥インフルエンザウイルス検査用“H5亜型インフルエンザウイルス検出試薬キット”の製造販売承認を昨年9月に取得し11月に新発売しましたが、水際での防疫あるいは感染拡大防止に貢献できるものと考えております。また、FINDとの共同事業で簡便、高感度なLAMP法結核検査薬、マラリア検査薬等の開発も進めており、発展途上国の感染症撲滅に寄与したいと考えています。

一方、大腸がん検診の受診促進、早期発見を啓発する、“BRAVE CIRCLE”大腸がん撲滅キャンペーンへの協賛も継続し、昨年9月の「がん征圧月間」では都内8病院が実施した「大腸がんに関する市民講座」にBRAVE CIRCLE運営委員会として協賛するなど各種啓蒙活動を行っています。また、便潜血検査用の新測定機器「OCセンサーio」も発売を予定しており、検査の効率化の一助になるものと期待しています。

さて、例年1月号に掲載の“新春放談”では、「感染症研究の現状と将来」と題し、国境を越える新興・再興感染症の脅威に対し、海外研究拠点を形成した感染症研究の国際ネットワーク化の話題を中心にご討論いただきました。国をまたいだ最新の感染症研究の取り組みをご一読いただければ幸いです。

皆様方にとって本年がよりよい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成21年元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

寺本 哲也